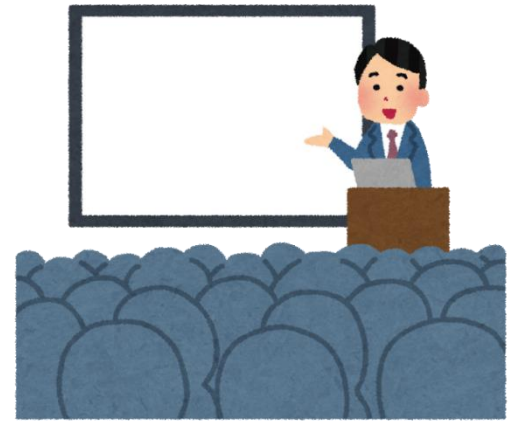


1月19日（土）

第4回例会では、認定NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会にご協力をいただき、読話の勉強会を開催しました。読話の専門講師、大江千枝氏をお招きし、「聞こえにくさに向き合う～読話って何？読話を試してみよう！～」をテーマにお話しいただきました。



皆さん、読話ってご存じでしょうか。

話している相手の口の形を見て、言葉を読み取る方法です。

読話は、手話と併用することで、話の理解が一層スムーズになります。手話の単語を見ながら相手の口元の動きを見ると、手話と読話がお互いに補い合って言葉が判別しやすくなり、健聴者との会話も理解しやすくなるのです。

聴覚障害を持っていても読話により耳が不自由であることが分からない程スムーズに会話できる人もいます。

手話が十分に読み取れない方とのコミュニケーションも取りやすくなるので、手話と併用して習得される方が少なくありません。

参加者は40名強。

聞こえる方の中にも読話に興味を持って参加された方もいらっしゃいました。

実際にやってみて、なかなか難しいと思われた方も、コツをつかむと読み取りやすくなりましたね。

今後も中途失聴・難聴者の様々なコミュニケーション方法について、聞こえる人も聞こえない人も一緒に学んでいきたいと思います。第4回例会では、認定NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会にご協力をいただき、

読話の勉強会を開催しました。読話の専門講師、大江千枝氏をお招きし、

「聞こえにくさに向き合う～読話って何？読話を試してみよう！～」をテーマにお話しいただきました。

皆さん、読話ってご存じでしょうか。



話している相手の口の形を見て、言葉を読み取る方法です。

読話は、手話と併用することで、話の理解が一層スムーズになります。手話の単語を見ながら相手の口元の動きを見ると、手話と読話がお互いに補い合って言葉が判別しやすくなり、健聴者との会話も理解しやすくなるのです。

聴覚障害を持っていても読話により耳が不自由であることが分からない程スムーズに会話できる人もいます。

手話が十分に読み取れない方とのコミュニケーションも取りやすくなるので、手話と併用して習得される方が少なくありません。

参加者は 40 名強。

聞こえる方の中にも読話に興味を持って参加された方もいらっしゃいました。

実際にやってみて、なかなか難しいと思われた方も、コツをつかむと読み取りやすくなりましたね。

今後も中途失聴・難聴者の様々なコミュニケーション方法について、聞こえる人も聞こえない人も一緒に学んでいきたいと思います。